



NPO 法人日本防火技術者協会 平成23年度通常総会報告

日時：平成23年1月28日(金)
13:30~14:30

場所：東京理科大学・森戸記念館

議題内容

- 1) 平成22年度事業報告
- 2) 平成23年度活動計画
- 3) 会計報告、予算計画
- 4) 監査報告
- 5) その他

〔総会参加者〕

会員数：128名(賛助会員を除く)

総会成立条件：委任状を含めて会員の過半数
の出席(定足数65名)

出席者：出席25名、委任状60名
合計85名

〔配付資料〕

- (1) 平成22年度 事業報告書、定款変更について
- (2) 平成23年度事業計画書
- (3) NPO法人日本防火技術者協会活動予定
- (4) NPO法人日本防火技術者協会平成22年度決算書
- (5) 平成22年度 会計貸借対照表
- (6) 平成22年度 会計収支計算書
- (7) 平成22年度 会計財産目録
- (8) 平成23年度 会計収支予算書

〔審議事項〕

- (1) 第一号議案 議長の選任
- (2) 第二号議案 議事録署名人の選任
- (3) 第三号議案 平成22年度事業報告
- (4) 第四号議案 平成23年度活動計画
- (5) 第五号議案 平成23年度会計報告
- (6) 第六号議案 平成23年度予算
- (7) 第七号議案 監査報告
- (8) 第八号議案 理事の選出

議事の経過の概要及び議決の結果

総会の開始に当たり、福井総務理事から定足数を満たしており、総会が成立することが宣言された。

引き続き、笠原勲理事長の挨拶があった。

(1) 第一号議案 議長の選任

笠原勲氏を議長に指名し、全員異議なくこれを承認した。

(2) 第二号議案 議事録署名人の選任

栗岡均氏、土屋伸一氏を選任することを全員異議なく了承した。

(3) 第三号議案 平成22年度事業報告

福井総務理事より平成22年度活動結果報告があり、審議し、全員異議なくこれを承認。主な活動内容は、以下の通り。

1) 調査研究事業

田中哮義教授記念講演会、リスクベースの火災安全設計法の可能性と意義、1月25日、スクワール麹町、40人

2) 調査研究事業

Building Regulations and Fire Protection Engineering In the USA、5月12日、東京理科大学・森戸記念館、22人

3) 防火技術者の国際的連携事業 (意見交換会開催)

アジアにおけるSFPE活動について、5月12日、東京理科大学・森戸記念館、16人

4) 調査研究事業(三菱1号館見学会)

5月27日、三菱1号館、32人

5) 調査研究事業(木材会館見学会)

7月8日、木材会館、32人

6) 調査研究事業(防火研修会開催)

高齢者施設の火災安全確保について考える(第2回)、10月18日、東京理科大学・森戸記念館、173人

7) 調査研究事業(新橋駅・品川駅見学会)

11月12日、新橋駅品川駅、8人

8) 防火技術者の連携事業(ホームページメンテナンス)

随時

9) 定款変更の報告

1. 住所変更

移転先は株式会社アフリの所在地である。なお、株式会社アフリの所在地が区内で変更になっても総会を開かなくてもすむように登録住所は中野区までにとどめている。

2. 理事の数変更

理事の定員の上限を増やした。

3. 総会での表決方法に電磁的方法の追加

総会に出席しない場合は委任状をもって出席に替えていたが、電子メールやHPへの書き込みなどの方法で表決に参加できることで、欠席者の意思を総会の決定に

容易に反映することができるようにした。

(4) 第四号議案 平成23年度活動計画

福井総務理事より平成23年度活動計画についての説明があり、審議し、全員異議なくこれを承認。主な活動計画は以下の通り。

1) 防火啓発事業

老人福祉施設、学校教育施設の避難安全に関する研究会を継続し、これら施設の避難安全、改善に向けた助言、施設従事者に対する教育プログラムを作成し、成果をシンポジウムなどで発表する。

2) 火災安全の広報事業

一般ビルや公共空間や地下の火災時の状況、避難安全の確保などについて防火技術者の立場から雑誌、ホームページなどで啓発する。

3) 調査研究事業

防災上特徴ある竣工建築物を性能設計の視点から調査するとともに、一般市民の啓発を図る。

4) 調査研究事業

建築物の火災安全性能や防火技術について、防火研修会により火災安全防火技術者の技術や倫理向上に資する。建築学会、火災学会などと共催を行う。

5) 防火技術者の連携事業

防火技術者の技術向上、倫理維持をめざしホームページ、E-mail配信などにより情報提供と相互連携、技術講習会を行う。

6) 防火技術者の国際的連携事業

国際的なシンポジウムに参加する。国際的な問題をテーマとするシンポジウムに講師を招聘・派遣する。

(5) 第五号議案 平成22年度会計報告

池田会計理事より平成22年度会計報告があり、審議し、全員異議なくこれを承認。

(6) 第六号議案 平成23年度予算

池田会計理事より平成23年度予算の説明があり、審議し、全員異議なくこれを承認。

(7) 第七号議案 監査報告

濱田監事より、平成22年1月1日から平成22年12月31日までの事業年度における理事の業務状況および財産の状況についての監査報告がされた。



(8) 第八号議案 理事の選出

議長より役員改選の人選について諮り、審議の結果、理事を池田憲一、上原茂男、笠原勲、佐藤博臣、関沢愛、富松太基、原田和典、堀田博文、福井潔、松山賢、中島秀男、山田茂、監事を高橋太とすることを全員異議なく承認した。

平成23年度から 新執行体制になりました

1月28日の通常総会で新執行体制が決まりました。

理事長：福井 潔
副理事長：関沢 愛
総務担当理事：堀田 博文
会計理事：中島 秀男
よろしくお願い致します。

—— 福井理事長の就任挨拶 ——

2011年理事の改選に当たり、この度非営利活動法人日本防火技術者協会(JAFPE)の理事長に推挙されました。あわせて米国防火技術者協会(SFPE)日本支部の支部長の責も担うこととなります。諸先輩に比べればまだまだ未熟ではありますが、会員の皆様のご協力を得ながら、両組織の発展のために努力する所存でありますのでよろしくお願いいたします。

NPO法人日本防火技術者協会も2003年9月に設立後7年半が経過いたしました。その間会員数も設立当初の40名弱から現在の128名(正会員数)へと順調に増えております。この勢いを受け継ぎ、今後の更なる発展に向けて以下の3テーマに取り組んでいきたいと考えております。

第一は、会員の職能の確立の問題です。設立当初から防火技術者の社会的な認知度を高め、防火技術者が高い技術力と誇りを持って仕事ができる環境づくりが防火技術者協会の目指すひとつの大きなテーマでありました。協会では職能ワーキンググループを設けて、この問題に取り組んできました。他の組織の職能資格のありようや、建築士法の改正による、構造一級建築士、設備設計一級建築士の創設に伴う、防火技術者のあるべき姿など、多角的な面から検討を加えてきましたが、そろそろひとつの方向性を見出すべき時期に来ていると考えます。設立10周年をひとつの節目と捕らえて、それまでに職能資格のあり方、

資格認定の方法、資格維持の方法などに一定の結論を出したいと考えております。

第二は国際化に向けての活動であります。設立当初より日本防火技術者協会はSFPEの日本支部を兼ねてきました。それを窓口に、海外の研究者による防火研修会や、SFPE主催の性能設計に関するシンポジウムへの参画、アジアの支部同士の交流組織の立ち上げなど国際的な活動を行ってきました。今後も国内経済の停滞と、経済圏のグローバル化に伴い、建設業に限らず多くの産業が国際化に向けて積極的に取り組んでいかないと、産業そのものが立ち行かなくなる危機をはらんでいます。そのような中で、防火技術者協会としても、より積極的に国際的な交流を図り、日本の防火技術者が世界に打って出て国際舞台で活躍できる環境づくりを目指したいと考えます。

第三は、社会への貢献や啓発活動です。防火技術者の社会的な認知を得るためには、市民が火災に対して抱いている不安を解消し、安全で安心して暮らせるような助言や提言をしていくことです。建築をめぐる技術が高度化し、より大きく複雑な建築物が増えていく中で、今まで考えられなかったような火災事故が起こる危険も増えています。予防的な観点で、また万が一起きてしまったときには、今後そのような火災事故を起こさないようにするには何をすべきか等を積極的に発信していくことで防火技術者の社会的な使命を果たして行きたいと思っております。

簡単ですが、以上をもって就任の挨拶とさせていただきます。

東北関東大震災に関して 理事長メッセージ

3月11日に発生した東北関東大震災による被災者の皆様に、心からのお見舞いと哀悼の意を表します。

本協会は、学識経験者や民間の防火技術者の集まりであり、一般の建築火災だけではなく、震災等の大災害にも大きな力のある組織です。今後とも、地震後の火災の予防、大規模火災への対処、火災時の避難などに関する技術力の向上と啓発活動を進めてゆく所存です。また、防火技術者として震災復興における支援などお役に立てることがあれば、お力添えしたいと考えております。

復興には、多くの困難と長い時間を要すると思いますが、一日も早く、日常生活を取り戻せることを心からお祈りしております。(2011/03/16)

東日本大地震へ義援金

日本防火技術者協会より5万円を日本赤十字社へ送らせていただきました。

臨時講演会

ニュージーランドのウェリントン 大学建築学科 Geoff Thomas 先生の特別講演を開催しました

2011年5月25日ニュージーランドウェリントンのビクトリア大学講師のDr. Geoff Thomasによる講演が、東京理科大学森戸記念館で行われました。

講演題目は、「クライストチャーチの地震とビルの挙動や被害について」でした。多くの日本人が亡くなった同ビルの構造や地震時の挙動について、Dr. Geoff Thomasの推定も含めた貴重な講演でした。出席者十数名であったが、活発な議論がなされました。

防火研修会「知られているようで 知られていない煙感知器」 を開催しました

日本防火技術者協会では、毎年、防火技術に関連する講演を開催しています。

2011年6月7日当会主催東京理科大学火災科学研究センターG-COE後援で、堀田博文総務理事による講演が東京理科大学森戸記念館で開催されました。

講演題目は、「知られているようで知られていない煙感知器」でした。

消防用設備等の設計は、建築士が行うことになっていますが、実際には防災設備業者に負うところが多いのが現状です。当協会の会員は建築防火関係の会員が多く、感知器は、なじみが薄いと意見が多く聞かれます。そこで消防用設備等の警報設備の分野で自動火災報知設備を取り上げました。ここでは自動火災報知設備の感知器、特に煙感知器に焦点をあててみました。

感知器は、消防関係法令に従って警戒区域の用途、天井高、面積等に従って感知器



の種類や感度等が選択され設備設計され、消防設備士等により施工、試験、点検など行われています。

種々の感知器や検出原理や感度、火災性状態などを説明した上で、感知性能や非火災報などについても取り上げました。

感知器は、火災を感知し警報を発する以外に、放送設備、空調設備、消火設備、排煙設備または防煙区画形成、防火区画形成の制御用に使われています。避難計画を考える上でも特性を知る上で重要になります。感知器の発報に対する空調の影響が見落とされている点が強調されていました。参加者は、20名でしたが、質問等により予定を越えて議論がされました。

ソニー大崎ビル見学会が 開催されました

2011年3月11日(木)ソニー大崎ビルの見学会を開催しました。



この建物は、120mの長さの無柱の執務空間を特徴とするオフィスビルで、避難の歩行距離の緩和を目的として避難安全検証を適用しています。建物前面にはバルコニーが設置されており、バルコニー端部にある外部階段が補助的な避難経路となっています。執務空間に平行して安全区画された廊下の端部正面に避難階段がある明快な構成も避難安全を高めています。バルコニーにはセラミック製の中空ルーバーを流れる水の蒸発熱で環境負荷を軽減する装置も設置されていました。ちょうど見学の最後に東北地方太平洋沖地震が発生し、免震ビルの有効性を体感することがで

きました。電車が止まり、参加者は一時ビル内に待機させていただきましたが全員何とか無事帰宅あるいは帰社することができました。

大林組技術研究所見学会を 開催します

参加最大予定者数：30名
参加者の属性：日本防火技術者協会の会員でない一般の人でも可能です。同業他社も可。
日時 10月5日 14:00~17:00頃
交通 現地集合、現地解散
後日、HP等でお知らせします。

受賞

関沢理事がこのたび、SFPEの本部より、2011年のD. Peter Lund Awardを受賞されることになりました。受賞理由はアジア太平洋地区における支部活動への貢献です。受賞をお喜び申し上げるとともに我々の今後の活動の糧としたいと思います。賞は10月に行われるSFPEの定期総会の中で授与される予定です。

書籍紹介

「建築物の煙制御計画指針(案)」 日本建築学会 ～「排煙技術指針」の改訂版～

「新・排煙設備技術指針 1987年版」が初版から改訂されず現在に至っていましたが、これに替わるものとして、新たに「建築物の煙制御計画指針(案)」が出版されました。なお「案」となっていますが、決して中間報告のようなものではなく、そのまま実務の参考にできるものです。

<http://www.aij.or.jp/jpn/publish/publish-menu.htm>



「加圧防排煙設計マニュアル」 日本建築センター ～実務に役立つマニュアル～

平成21年に施行された、特別避難階段の付室や非常用エレベーター乗降ロビーの加圧防排煙に関する告示の解説書です。技術基準の解説に加え、ケーススタディ、Q&Aも掲載されています。

https://www.bcj.or.jp/publication/index.php?main_page=product_info&products_id=171&zenid=fd1928bf50524da468cfd79ad7f6134f



「消防活動支援性能のあり方 検討会報告書(平成19年度)」 総務省消防庁 ～消防加圧防排煙の技術的解説～

国土交通省の加圧防排煙関連の告示と同日に施行された総務省令及び消防庁告示に関わる報告書です。告示の解説書ではない上、告示は本報告書の内容と異なる規定もあるので、そのまま実務で使用できるものではありませんが、消防告示を読み解くには、ある程度役に立つと思われます。

http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/houdou/200404/200404-1houdou_z1.pdf

理事会等の開催結果

理事会を以下の日に実施しました。
2月17日(木)、3月28日(月)、
5月10日(火)、7月4日(月)

新入会員(敬称略)

〔会員〕

伊藤忍〔エフエム・アブルーパルズ・エルエルシー日本支店〕
内藤延彦〔FMエンジニアリング〕

〔賛助会員〕

有限会社ネクストプラン



SFPE・Jニュース
(SFPE 日本支部
の活動 第26号)

SFPE 日本支部 2011 年度通常総会報告

日時：平成23年1月28日(金)
14:30~14:50

場所：東京理科大学 森戸記念館

議題内容

- 1) 2010 年度事業報告
- 2) 2011 年度活動計画
- 3) その他

〔2010 年度活動報告〕
〔2011 年度活動計画〕

1) 防火技術職能 WG

2010 年度は WG を 5 回開催。新規のメンバーを含めて「クライアント」などについて検討し、広く意見を聞きました。2011 年度は、クライアントのターゲットについて検討します。また関連団体の意見などを聞く会を開催します。「防火技術者の資格制度」「防火技術者の教育」「倫理規定の案」を検討します(年 6 回程度開催)シンポジウム等も予定しています。

2) 老人福祉施設、学校教育施設の避難安全に関する研究会

前年度までに作成したチェックリストの実用性を確認するため、高齢者施設に対するアンケートを実施し、分析しました。第 2 回防火研修会を実施し、参加者数は約 160 名でした。2011 年度は第 3 回防火研修会を実施します。映像等を中心としたテキストを作成し、出前講座も積極的に行う予定です。

3) SFPE ケーススタディ WG

第 8 回性能設計と火災安全設計法に関する国際会議で発表しました。第 9 回の国際会議にケーススタディにも参加する予定です。

4) 見学会・講習会(事業 WG)

- 2010 年度は以下を開催しました。
- ・ 1/25：リスクベースの火災安全設計法の可能性と意義
 - ・ 5/12：Building Regulations and Fire Protection Engineering In the USA

- ・ 5/27：三菱 1 号館見学会
- ・ 7/8：木材会館見学
- ・ 10/18：高齢者施設の火災安全確保について考える
- ・ 11/12：新橋駅品川駅見学会

2011 年度も、NPO 法人日本防火技術者協会の活動に参加します。建築学会・火災学会の活動後援、見学会、防火技術研修等も行います。

5) 広報活動

NPO 法人日本防火技術者協会のニュースを兼用、年 2 回発行、ホームページのメンテナンスを行います。

6) 対外活動

フライアンミッチャム氏による ICC Building Code についての講演を行いました。また、アジアにおける SFPE 支部活動一台湾支部、香港支部、中国本土支部(北京・上海)、シンガポール支部、オーストラリアとの連携について、SFPE 本部から調整を行うことを要請しました。

2010 年 6 月に行われた第 8 回性能基準と火災安全設計法に関する国際会議(主催 SFPE)においてケーススタディ案を発表しました。

10 月に行われた SFPE 本部総会技術報告会において、日本人初のフェローとなられた田中睦義先生(京都大学)が基調講演をされました。

10 月に台湾で開催されたアジアにおける SFPE 支部活動の連携のための会議に参加しました。

2011 年 4 月にソウルで開かれた SFPE アジア地区の交流会に参加しました。

第 9 回性能設計と火災安全設計法に関する国際会議ケーススタディにエントリーする予定です。

SFPE アジア地域の交流会報告 アジアにおける SFPE 支部交流会 が開催されました

4 月 28~29 日にソウルで SFPE 支部交流会が開催されました。

参加した国と地域の代表は、日本支部の他、台湾支部、香港支部、マレーシア支部、インドネシア支部、韓国支部、中国支部、SFPE 本部から技術部長のモーガン・ハーレイ氏、理事会メンバーのデイビッド・バーバー氏(オーストラリア)の参加を得て開催された。またタイからも近い将来の支部設立をめざして参加がありました。日本支部からは福井理事長、関澤理事(交流会議

の議長)のほか、シンポジウムとテクニカルツアーには会員の峯岸さんも参加しました。初日午前の交流会議では各国の防火技術者のプロフェッションの状況に関する報告と討議がありました。午後は交通施設の火災安全に関するシンポジウムが開催され、韓国(列車の設計火源について)、日本(国際鉄道駅の火災安全設計-2004 年の性能設計シンポジウム計画案)香港(地下鉄駅の火災安全について)、台湾(台北駅の火災安全管理について)、中国(杭州地下鉄駅の性能的火災安全設計)からそれぞれ講演がありました。二日目のテクニカルツアーは、ソウル市の危機管理センター、北村(伝統的建築群地区)、建設中の IFC(International Financial Center)の現場などを見学し、漢江のクルーズで最後を締めくくりました。

今回は、来年 6 月に香港で開催される SFPE の性能設計に関する国際シンポジウムにあわせ、その前日に開催されることになりました。またマレーシアからも開催のオファーがあり、その次の開催地候補となりました。



9th International Conference on Performance-Based Codes and Fire Safety Design Methods: ケーススタディ参加者募集

来年の6月20日~22日に香港で開催されるSFPE主催の性能設計に関する国際シンポジウムでJAFPEとしてケーススタディに参加することにしましたのでその参加者を募集します。

今回の課題は490mの住宅、事務所、商業からなる超高層です。スレンダーなプロポーションや上階工事中の下階利用など香港らしいスバックが盛り込まれています。

スケジュールは8月頃から1回/月で委員会を開催して、来年の2月17日が報告書



の提出期限です。

ケーススタディの発表者の特典としてシンポジウムへの参加登録費(\$1,000程度)が免除されます。

諸外国の性能設計の実情に触れられるよい機会ですのでふるってご参加ください。参加希望者は、理事長の福井までメールでご連絡ください。

なお、シンポジウムでの論文発表の募集もされていますのでそちらも添付します。希望者は直接申し込みください。

イベント情報

2011 SFPE Annual Meeting: Professional Development Conference and Exposition
October 23 - 28, 2011
Portland Marriott Downtown Waterfront
Portland, Oregon

SFPE eNews から

SFPE 2011 Fire Protection Engineering P.E. Exam Online Course, July - October, 2011 - Prepare for the 2011 Fire Protection Engineering PE Exam from wherever you can access the internet. This effective, on-line review class will help you organize and navigate through the massive amount of reference material.

<http://www.sfpe.org/Education/2011OnlineStudySeminarforFPEPEExam.aspx>

SFPE Advanced Fire Alarm Systems Design, October 13-14, 2011 - This 2-day seminar is being held at one of NFPA's Professional Development Weeks in Hasbrouck Heights, NJ.
<http://www.nfpa.org/catalog/product.asp?pid=ADFA&cookie%5Ftest=1>

2011 Annual Meeting: Professional Development Conference and Exposition, October 23-28, 2011 - Mark your calendar for the SFPE Annual Meeting at the Portland Marriott Downtown Waterfront in Portland, OR.
<http://www.sfpe.org/Education/2011SFPEAnnualMeeting.aspx>

2012 Annual Meeting: Professional Development Conference and

Exposition, October 14-19, 2012 - Mark your calendars to attend the SFPE Annual Meeting at the Hyatt Regency Savannah in Savannah, GA.

Journal of Fire Protection Engineering Vol.21, No.2, May 2011

Modeling fan-driven flows for firefighting tactics using simple analytical models and CFD (簡易モデルと CFD を使った消防戦術として送風機で作る流れのモデル化) C Weinschenk, CM Beal and OA Ezwkoye

Flammability of antifreeze agents for automatic sprinkler systems (スプリンクラーシステムのための不凍液の燃焼性) M Arvidson

An emissive power correlation for solid fuel packages (固体燃料容器と放射強度の関係) DA Coutts

Analyzing smoke alarm response to flaming fires using the fire model JET (火災モデル JET を用いた煙感知器の火災感知の解析) W Davis, N Marsh and M Selepak

Fire Protection Engineering No.50, 2nd Quarter 2011

After the Alarm Sounds : Historical, Present and Future Perspective, Historical review and recent trends in egress modeling. (火災警報が鳴動した後～避難モデルの過去・現在・未来) Jason D. Averill, Erica D. Kuliogowski, Ph.D., and Richard D. Peacock, National Institute of Standards and Technology

Means of Egress : Interesting and controversial means of egress changes over last decade. (避難方法の最近 10 年の変遷) James K. Lathrop, FSFPE, Nad Clay Aler, P.E., Koffel Associates, Inc.

On Elevator Shaft Pressurization